

日本古代史年表

- 二神の婚礼 仲人 事解之男命（ことさかのを） (2-8)
高仁尊、伊佐子。西南の筑波の伊佐宮で婚礼が行われる。
伊奘諾尊、伊奘冉尊となる。
伊奘諾尊（40歳） 伊奘冉尊（31歳）

- 筑波山の伊佐宮で昼子姫の誕生
伊奘諾尊（40歳） 伊奘冉尊（31歳） 昼子姫（1歳）
伊奘諾尊（42歳） 伊奘冉尊（33歳） 昼子姫（3歳） (3-4)
・天の節に当たり、葦船に乗せて流す。 (3-5)

- 淡路（近江）の八尋殿でヒヨル子、流産する。

- 天の原見山（富士山）の原宮で天照神の誕生。 96ヶ月（8年）後に。 (3-9)

- 伊奘諾尊、伊奘冉尊の足跡
 - ①日高見
 - ②筑紫
 - ③葦原淡国（全国国作り）
 - ④原見山

- 筑紫、月隅（九州）で月読尊の誕生。 (3-10)

- 熊野宮（素戔：ソサ）で素戔鳴尊の誕生。 (3-11)

- 熊野（伊奘冉尊の神上がり） (5-6)

- 天照神、原見山（富士山）の宮へ遷宮。 (6-1)

- 十二后制定 (6-2)
 - ②日高見仙台宮
 - ・忍穗耳尊は豊受神より天の道の奥義を学ぶ。30年間。
後に、この宮は忍穗耳尊が天照神より譲り受ける。 (28-)
 - ③大山本日高見安国宮（富士山） (6-2)

- 淡路の宮（伊奘冉尊の神崩御） (6-18)

- 天照神、宮津の宮から要請、真名井（京都）に行幸。
持子、穗日尊を生む。
早子、三女神を生む。

- 細矛千足国（山陰）を巡行。
 - ・真名井（丹後）を発ち、安国宮に帰還。
 - ・素戔鳴尊を伴う。

- 豊受神の崩御。 (6-7)

- 安国宮より伊雑宮に遷宮。

- 伊雑宮（伊勢国）で瀬織津姫は、忍穗耳尊を生む。 (6-10)、(7-2)、(14-1)

●多賀（伊弉諾尊の神上がり） (6-14)

●近江国多賀若宮で忍穗耳尊は昼子姫に養育される。 (6-15)

●昼子姫、思兼命と結ばれる。

・白人・胡久美の犯行 兵主命 (7-1)
・椋杵命 : 細矛千足国の国司

・持子白人・胡久美を救う。

・天押日命、千足国の益人となり、白人胡久美を臣とする。

・素戔鳴尊これを整えに行く。

・素戔鳴尊大内宮の北の局に折々宿る。

・早子と密情を交わす。

・持子、早子は北の局を下ろされる。

・素戔鳴尊の暴挙。

・持子、早子は筑紫へ左遷。 (7-10)
・持子、早子は流浪となり、川（島根）にて大蛇に変身
・白人胡久美、大蛇に仕える。

・素戔鳴尊の乱行。 (7-12)

・天照神の岩室隠れ。 (7-13)

・素戔鳴尊、下民の流浪となる。 → 根の国、細矛千足をさすらう。 (9-1)

・許された素戔鳴尊 (9-10)

・素戔鳴尊、八雲立つの歌 (9-11)

・大己貴命 (9-14)

・出雲の大宮（大己貴命） (10-1)

・思兼命神上り。 (10-2)

●日高見の御座の跡に多賀壺若宮遷宮。忍穗耳尊。 (11-1)

●忍穗耳尊、十二后制定の祝儀。 (11-2)

●忍穗耳尊の即位 (19-1)

●天照神は日嗣ぎを忍穗耳尊（忍仁尊）に渡される。 (12-2) (20-)
皇位継承のため日高見（東北）の多賀の若宮から、伊勢の国、伊雑の宮へ降る。
30年間。 地方統治の勅命。

西は野州川の宮	思兼命
外つ国（四国）	月読尊
根の国	白山姫（菊桐姫）
月隅（九州）	住吉神（金析命）

天照神は伊勢の国、伊雑宮の大内に居られた。

●ハタレ魔軍の大動乱。

●地方のハタレを平定する人達。

香取神（経津主命）

鹿島神（武甕槌命）

伊吹戸命

荷田命

手力男命

熊野楠日尊

六ハタレ（シム道、ハハ道、キノラ道、キク道、アエ道、キヅナ道）

●西王母再び来朝する。

●火之明照彦命の葦原国派遣。 (20-1)

●十種の神宝 (20-2)

●火之明照彦命、斑鳩の宮（のちの飛鳥宮） (20-7) (28-)

●新治の宮、遷都祝い (22-1)

●瓊々杵尊、新治の宮、新田を開いた。

↓ 18年間、各地を巡られる。

原見山にもどる。（磯輪上秀真国）

↓ 30年間

↓ 60年間

日向の国、高千穂の峰で神となる。

- ・多賀宮（宮城）で誕生
- ・伊勢の国
- ・飛鳥宮
- ・御津・西宮・神崎（兵庫県）
- ・根国白山
- ・越国
- ・近江国高島
- ・近江国三上山
- ・近江国多賀宮
- ・美濃国
- ・信濃国
- ・諏訪
- ・原見山（富士山）の酒折（山梨県）
- ・新治宮（茨城県）
- ・白子宮
- ・須走
- ・酒折宮
- ・富士登山
- ・多賀宮（宮城県）
- ・伊豆崎
- ・壺の峰（比叡山）
- ・酒折宮改築し原朝間宮（浅間宮）とする
- ・箱根宮（浅間神社）
- ・伊勢伊雑宮
- ・近江国瑞穂宮
- ・安芸国
- ・筑紫（九州）鵜戸（福岡県）
- ・瑞穂宮
- ・大津シノ宮
- ・貴船社（京都府）
- ・高千穂峰（宮崎県）に隠れ神上がる。

●彦火々出見尊の誕生。

●卯津杵尊（彦火々出見尊）、筑紫に行幸され、水田を肥やし、民の御親となる。18年間。

(28-15) 火々出見尊（卯津杵尊）は 筑紫に至り
田を肥やし 親に仕ふる
民を愛で 十八万年治め
筍飯の神

●瓊々杵尊は近江の国、瑞垣宮で卯津杵尊（彦火々出見尊）に日嗣ぎの勅。 (26-)
鵜戸の仮宮（宮崎県日南市大字鵜戸）にいる卯津杵尊の下に勅。

卯津杵尊は志賀の浦（福岡県志賀島の海岸）から出発する。
北の津（敦賀）に着く。伊奢沙別の宮（福井県敦賀市気比神社）
豊玉姫は御子（鴨仁尊）を生む。後に鵜葺草葺不合尊となる。 (26-)

●彦火々出見尊、日嗣ぎとして近江の国、瑞穂宮に遷られる。
60年間、のち筍飯の神となる。

●鵜葺草葺不合尊（鴨仁尊）、日嗣ぎ。瑞穂宮から多賀の宮に遷宮する。

- ・松原（福井県敦賀市気比の松原）誕生の地 (27-)
- ・遠敷（福井県遠敷郡）
- ・瑞穂宮（滋賀県三上山麓）
- ・多賀（滋賀県犬上郡多賀大社）
- ・筑紫（九州）鵜戸（宮崎）
- ・鹿児島宮
- ・吾平津宮

●鴨仁尊（鵜葺草葺不合尊）、日嗣を受ける。 40年
瑞穂宮を多賀の宮に移す。 35年

(28-15) 御子鴨仁は
日嗣を受け 瑞穂宮を遷す
多賀の宮 治むる民を
子のごとし 天に応ふる
神の名も 御祖天君

(28-16) 若宮の 時に四十万年
世の政り 三十五万年
豊かなり

●伊雑宮に居る十二人の后、神上りする。 (28-16)

●瀬織津姫、後に宇治の宮居に遷宮。2年経つ。 (28-17)

●天照神、百七十三万年 二千五百年 神上りする。 (28-18)

●鵜葺草葺不合尊の誕生。 (27-1)

●神武天皇（武仁尊）の誕生。

- ・多賀（誕生） (27-)
- ・西宮
- ・鵜戸（宮崎県）
- ・宮崎宮

（参照）『ほつまつたゑ入門』 鳥居礼著 （P. 83）